



# 13 農林水産物流通対策モデル実証支援事業費

令和5年度12月補正予算(案)  
予算額 23,500千円

長引く物価高騰に加え、トラックの輸送能力不足が懸念される「物流の2024年問題」への対策として、県産農林水産物の安定的な流通の確保に向けた輸送効率化のモデル実証に取り組む農林水産団体を支援することにより、本県農林水産物の競争力の強化を図る。

お問い合わせ先  
農林水産部

農政企画局 農政課 (089-912-2510)  
農業振興局 農産園芸課 (089-912-2565)  
森林局 林業政策課 (089-912-2585)  
水産局 漁政課 (089-912-2605)

### 事業イメージ

**KPI** 支援するモデル事業の件数のうち、輸送モデルの成果を確立した件数の割合  
現状値 -  
目標値 100% (R6年度)

### 【課題】

令和6年4月～  
「働き方改革関連法」がトラックドライバーに適用開始  
⇒ 時間外労働：年間960時間が上限



**農林水産物：鮮度の低下、価格の上昇等 ⇒ 競争力低下につながる懸念**  
・柑橘類や水産物の多くは、関東圏にトラックで出荷されている。  
・活魚や木材製品の輸送は、品質管理面等の条件のため、効率化が難しい。  
⇒ 関係団体では柑橘や水産物の出荷ピークの、この冬季から対策を実施

### 【対策】

### 農林水産団体が取り組む輸送効率化に向けたモデル実証を支援



標準パレット導入など効率化の実証



鉄道や船舶への転換の検証



活魚車輸送の評価・分析

### 事業概要

【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業】

- 1 農産物流通対策 8,500千円**  
実施主体：JA全農えひめ、農業協同組合（5団体）
  - ①流通モデル実証支援（補助率：定額） 5,000千円  
補助対象：標準仕様パレットへの対応や荷役時間の短縮等に係る経費
  - ②輸送効率化支援（補助率：1/2） 3,500千円  
補助対象：荷役時間短縮や効率化に資する設備整備
- 2 木材製品流通対策 7,500千円**  
実施主体：県木材協会
  - ①流通モデル実証支援（補助率：定額） 4,000千円  
補助対象：JR貨物列車や船舶への転換の実現可能性の検証経費
  - ②輸送効率化支援（補助率：1/2） 3,500千円  
補助対象：荷役時間短縮や効率化に資する設備整備
- 3 水産物流通対策 7,500千円**  
実施主体：県漁業協同組合
  - ①流通モデル実証支援（補助率：定額） 4,000千円  
補助対象：活魚車輸送における産地での集荷の効率化の検討経費
  - ②輸送効率化支援（補助率：1/2） 3,500千円  
補助対象：荷役時間短縮や効率化に資する設備整備